

北関東防衛局広報



防衛省北関東防衛局総務部報道官編集発行
さいたま市中央区新都心2-1
<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



講演する森本教授

挨拶する鎌田局長

第8回防衛問題セミナー

北関東防衛局では、広く国民の皆さんに安全保障や防衛の問題について御理解をいただくため、防衛問題セミナーを開催しています。

6月9日、さいたま新都心において、「東アジア情勢と日本の防衛」をテーマとして第8回防衛問題セミナーを開催しました。

今回は、テレビ、新聞等において、幅広い活躍をされておられる拓殖大学海外事情研究所長の森本 敏氏を講師にお招きして行いました。

370人の方々に来ていただき、来場者からは、とてもわかりやすい解説であり、聴く者の興味を惹きつけ、今後もこのような防衛問題セミナーに参加したいとの声が多くありました。

北関東防衛局としても、今後ともこの企画を積極的に継続していく予定です。

在 日 米 軍 ・

在日米軍・横田飛行場

在日米軍は、日米安保条約に基づき、わが国の安全と極東における国際の平和と安全のために駐留しています。

横田飛行場は、在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の司令部が所在する重要な施設です。

なお、現在、府中に所在する空自航空総隊司令部は、米第5空軍司令部と日米間で必要な情報を迅速に共有するため、平成22年度を目標に横田飛行場に移転することとしています。



これまで50年以上にわたり、日米両国家は友人として共に働いてきました。この先さらに両国家の友情を深める沢山の可能性や機会があることを確信しています。この関東平野において皆様からの支援なしに使命を遂行することは不可能です。

日本の方々の温かい歓迎とすばらしい支援により、日本での任務を実に楽しんでできました。その感謝の気持ちを込めて8月23、24日に行われる横田基地友好祭に皆様を招待します。

第374空輸航空団司令官

ジョン・F・ニューエル III 大佐



友好祭の様相



横田飛行場のメロ

横田飛行場は、東京の福生・立川・昭島・武蔵村山・羽村・瑞穂の5市1町に跨り、3,350mの滑走路を持つ飛行場で、軍人・家族等約1万人が暮らすため住宅や売店等も整備されています。

横 田 飛 行 場

米軍人による奉仕活動と地域との交流行事

横田飛行場の軍人・軍属やその家族は、いろいろな活動を通じて地域の人々と交流をしています。

最近では、6月に瑞穂町一斉清掃に参加するなど、清掃活動や高齢者・児童福祉施設での奉仕活動を行っています。

また、基地内では、スペシャルオリンピック、友好祭やハロウィン等の行事を通じて地域の人々と交流をしています。

こういう活動には、多くの軍人・軍属とその家族がボランティアとして参加し、日本社会との相互理解を深めています。



清掃活動



老人ホームの窓清掃活動



スペシャルオリンピック

横田基地と友好クラブの交流

横田飛行場周辺市町では、市民有志により地域と横田基地の相互理解を促進・発展させ、善意の交流を深めることを目的として「横田交流クラブ」が発足しています。

平成元年の福生市をはじめとして、平成16年以降、あきる野市、瑞穂町、羽村市、武蔵村山市で相次いで発足しました。

横田基地では、374空輸航空団がホスト部隊として、各友好クラブとの間で相互に計画する夏祭り、餅つき大会、産業祭、ゴルフ大会、ハロウィンなどの行事を通じて日米親善を行っています。



合同新年会



餅つき大会

自衛隊で働く人を募集しています。

平和を、仕事にする。



陸海空自衛官募集



お問い合わせは、以下の各県に所在する地方協力本部へ

	所在地	電話番号	U R L
茨城地方協力本部	水戸市三の丸3丁目11-9	029 (231) 3315	http://www.mod.go.jp/pco/ibaraki/
栃木地方協力本部	宇都宮市桜5丁目1-13	028 (634) 3385	http://www.mod.go.jp/pco/tochigi/
群馬地方協力本部	宇都宮地方合同庁舎 2 F		
群馬地方協力本部	前橋市南町3丁目64-12	027 (221) 4471	http://www.mod.go.jp/pco/gunma/
埼玉地方協力本部	さいたま市浦和区常盤 4 丁目	048 (831) 6043	http://www.mod.go.jp/pco/saitama/
千葉地方協力本部	11-15 浦和合同庁舎 3 F		
千葉地方協力本部	千葉市稲毛区轟町 1 丁目1-17	043 (251) 7151	http://www.mod.go.jp/pco/chiba/
東京地方協力本部	新宿区市谷本村町5-2	03 (3260) 0543	http://www.mod.go.jp/pco/tokyo/
新潟地方協力本部	新潟市中央区船場町 2 丁目3423	025 (229) 3232	http://www.mod.go.jp/pco/niigata/
長野地方協力本部	長野市旭町1108	026 (233) 2108	http://www.mod.go.jp/pco/nagano/
	長野第2合同庁舎 1 F		

防 衛 閑 話

古代中国の兵法書である「孫子」を読みかえしてみました。作者についていくつか論議はあるようですが、今から概ね2500年前の中国の春秋時代末に呉王に仕えた孫武の著した書と伝えられています。実際に行われた戦争の記録ではなく、それらを踏まえて、戦いや勝利の一般的な「法則」をおそらく人類史上最初に体系化した点で歴史上の金字塔であります。これに加えて、2500年前に書かれたものであるにも関わらず、その内容は十分に現代にも通じる普遍性を有することも驚くべきことだと思います。ナポレオンがフランス語に訳された孫子を常に携帯していたとか、ドイツ皇帝ウィルヘルム2世が第一次大戦終結後に初めて孫子に出会い、もっと早くこの本を読んでいたらドイツの惨敗はなかっただろうと悔いたという逸話も在るくらいです。我が国の旧帝国陸海軍の将星が真に孫子の忠実な弟子であれば、悲惨な大戦を引き起こすことはなかったでしょう。兵法書でありながら、冒頭の「兵は国の大事」と述べているように、軽率な軍隊の使用を徹底的に戒め、読みようによっては嫌戦論にも読めそうなところがあるのも特徴的なところですね。他方で、マキャベリーも顔負けの冷厳なりアリズムに貫徹されているところも孫子の特徴の一つです。戦争の大義名分やその道義的な善悪などには、ほとんど言及せず、どうやって「勝ち」を確保するかその一点に集中して論を展開しています。「兵は詭道（相手をいつわりだますもの）」という主張には勝利を得るためにはむしろ倫理的な美德は排斥されるべきものとの冷厳な考えがあるように思います。そう言った観点から言えば、孫子の兵法は「美しさ」、「正義」、「優しさ」と言った価値観とは無縁の哲学に感じられます。冷厳なりアリストになりきれない私などは孫子の兵法を読みながら「強くなければ生きてはいけず、優しくなければ生きる資格がない」という言葉を思い浮かべながら、「優しさ」と「強さ」は両立するのだろうかなどと考えました。

(本稿は筆者の個人的な見解です)